

アドレナリン注射剤の使い分け

アナフィラキシー：「ボスミン注アンプル(1mg/1ml)」筋注
成人 0.3mg (0.3ml) 小児 0.01mg/kg
心肺蘇生：「アドレナリン注シリンジ(1mg/1ml)」
1mg (1本)/回

院内にアドレナリンの注射薬が2品目あり、治療目的により使い分けています。慌ただしい状況で使用することが多く、かつ、誤った使用をすると重篤な症状の恐れがあります。今回、標準的なアナフィラキシー時の投与、誤投与回避の処方対策を載せましたので紹介いたします。

標準的なアナフィラキシー時の投与

成人 0.3mg~0.5mg 筋注、小児 0.01mg/kg 大腿外側広筋もしくは臀部に筋注です。
救急診療委員会作成のプロトコール『アナフィラキシーのマネジメント』で 0.3mg 筋注 と設定してあります。

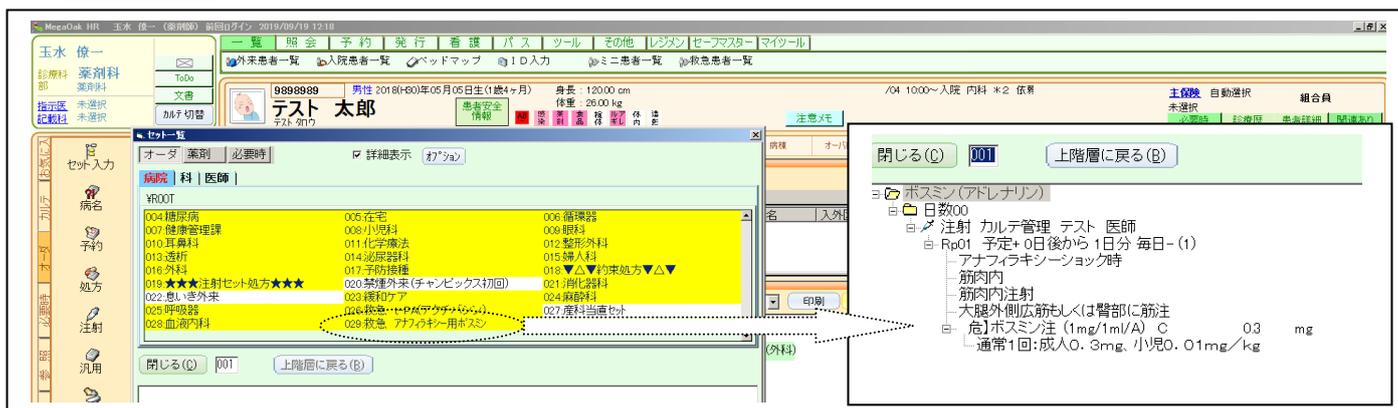
処方対策①

ボスミン注アンプルを処方入力すると 0.3mg と自動的に表示されます。
※小児は適した量へ変更をお願いします。

1回に1本全量は使用
しません！！

処方対策②

セット処方を作成しました。ご活用下さい。



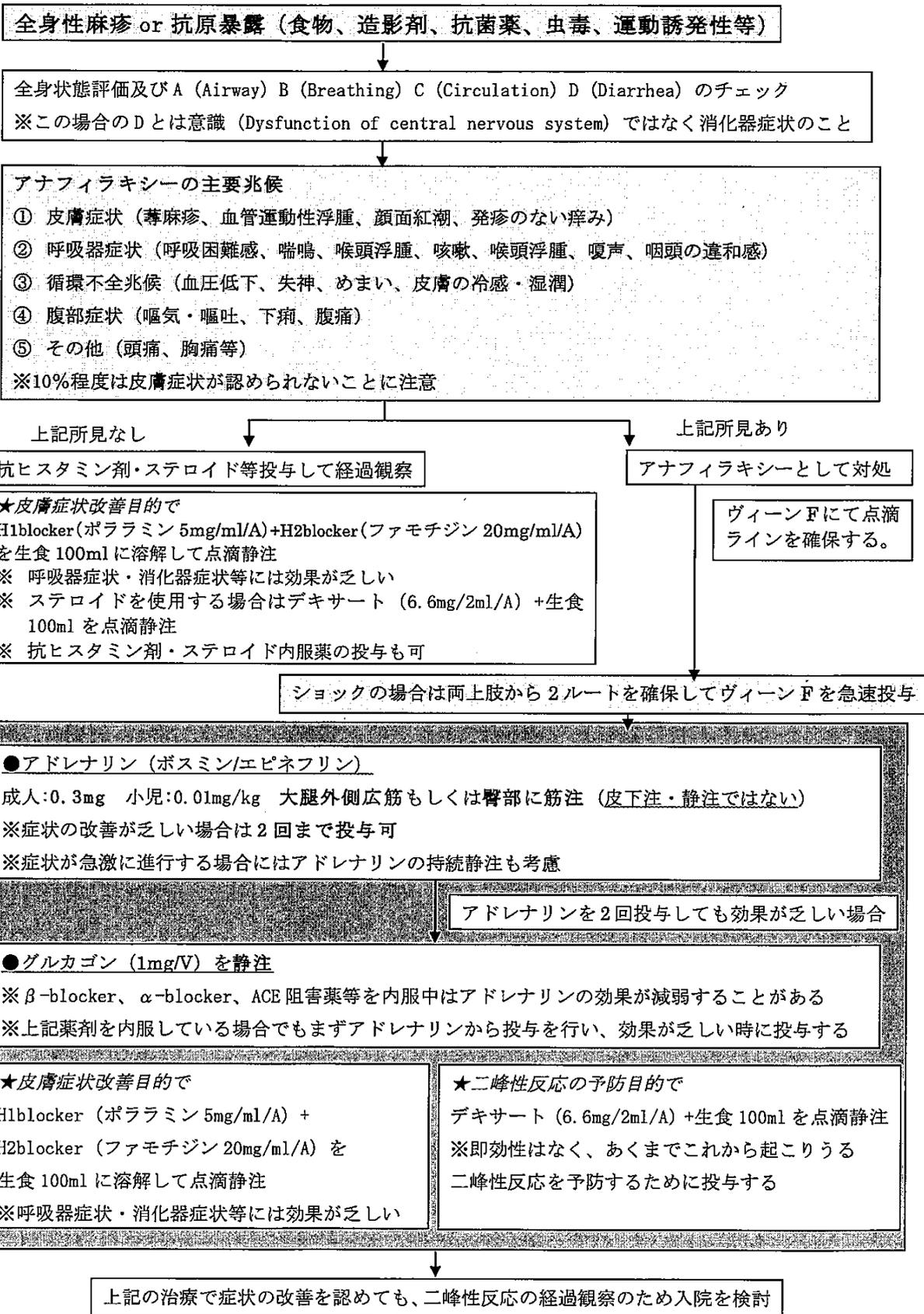
救急診療委員会作成の『アナフィラキシーのマネジメント』を次ページに載せます。
マイツール→救急→『アナフィラキシーのマネジメント』でもご覧になれます。

<注意喚起>

アナフィラキシーに誤って1回1mg使用すると、異常高血圧や心室細動などの致死性不整脈を惹起しうる恐れがあります。投与量に疑問を感じたら医師へ確認して下さい。

—今月号の目次—

①<今月のトピック1>アドレナリン注射の使い分け	P1
②<今月のトピック2>アナフィラキシーのマネジメント	P2
③<今月のトピック3>輸液混注後の遮光の必要性について	P3
④<DI情報>副作用報告、プレアボイド情報、採用薬変更のお知らせ	P3・4



輸液混注後の遮光の必要性について

未開封状態では遮光が必要な薬剤でも、輸液投与中は遮光カバーが不要なものもあります。問い合わせの多いビタミン剤を中心に遮光の必要性の有無についてまとめました。

<必要>

製品名	メーカー	遮光の必要性	理由
ダイビタミンクス注 (ビタミンB1・6・12)	原沢薬品	必要	3時間以上でビタミンB12の力価低下
オーツカMV	大塚製薬工場	必要	・ビタミンA, B2は12時間で力価低下 ・ビタミンCは6時間で力価低下

<条件付き不要>

アスコルビン酸注 (ビタミンC)	扶桑薬品	他のビタミン剤と同時混注する時は必要	・他のビタミン剤がなければ力価低下なし ・ビタミンB2, 6, 12製剤と同時混合すると2時間で15%低下
モリヘパミン (肝不全用アミノ酸注射液)	EAファーマ	ビタミンB1と混合する時は必要	・ビタミンB1と混合するとビタミンB1の力価が低下 ・ブドウ糖と混合しても力価低下はない
シアノコバラミン注射液 (ビタミンB12)	日医工	点滴静注の場合は必要	・基本は筋注で投与 ・生食に混注で8時間までは91%保持、24時間で88.2% ・ブドウ糖に混注すると4時間で88%

<不要>

ケイツーN	エーザイ	不要	2時間後含量規格外のため2時間以内に投与する
KCL	丸石製薬	不要	リボフラビンリン酸エステルNaの分解の程度は低く遮光の必要はない
アリナミンF100注 (ビタミンB1)	武田デバ	不要	通常の持続投与時間であれば遮光カバーなしで良い
FAD注 (ビタミンB2)	わかもと製薬	不要	通常の持続投与時間であれば遮光カバーなしで良い
エルネオパNF	大塚製薬工場	不要	単独では遮光カバーなしで24時間までは成分含量90%以上保持のため。
ビーフリード輸液	大塚製薬工場	不要	単独では7日間まで95%以上保持

☆訂正のお知らせ

前号 (NO. 601) の【副作用報告】

×「蜂巣炎用反応」→○「蜂巣炎様反応」

DI情報

【副作用報告】

2019年度8月分の報告

協同:3件、川口:3件、秩父:1件、行田1件

No	薬効分類	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	PDE5 阻害薬 5α 還元酵素阻害剤	ザルティア錠 5mg アボルブカプセル 0.5mg	不消化便 下痢	1	協同	可能性有り
2	抗ウイルス剤	エレルサ錠 50mg グラジナ錠 50mg	肝機能障害 悪心	1	協同	可能性有り

3	抗ウイルス剤	エレルサ錠 50mg グラジナ錠 50mg	肝機能障害 発熱	2 1	協同	可能性有り
4	持続性 Ca 拮抗薬	アムロジピン錠 2.5mg	頻尿	1	川口	可能性有り
5	細菌ワクチン類	ニューモバックス NP	蜂巣炎様 反応	2	川口	可能性有り
6	選択的 DPP-4 阻害剤	ジャヌビア錠 50mg	口内炎	1	川口	ほぼ確実
7	持続性 Ca 拮抗薬	アムロジピン錠 5mg	頭痛	1	秩父	可能性有り
8	睡眠導入剤	ゾルピデム酒石酸塩 OD 錠 5mg	せん妄	2	行田	可能性有り

【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】

薬剤名	内容	処方の変更内容 /今後のフォロー
ファモチジン	ファモチジン(20mg)2T2x であるが、潰瘍や逆流性食道炎の症状でなく急性胃炎の症状ならば(10mg) 2T2x かどうか問い合わせした。	(20mg) 2T2x から (10mg) 2T2x に変更となった。
アドエア 250 ディスカス	当院外来かかりつけ。COPDにてアドエア 250 ディスカス、エンクラッセエリプタを処方されている。吸入アドヒアランス向上と、手技の簡便化のためアドエアを1日1回で良いレルベア 100 エリプタへ変更提案。	レルベア 100 エリプタへ変更。 後々テリルジーエリプタへの変更も検討していく。

【採用薬変更のお知らせ】 (県連薬事委員会 8月報告より)

新規採用・新規試用				採用削除		
変更理由	メーカー	薬品名	薬価	メーカー	薬品名	薬価
採用	久光製薬	フェントステープ 1mg/2mg/4mg/8mg	567.7円 /1mg			
販売中止				日本ベーリンガー	ガストロゼピン錠 25mg	
採用中止				帝國製薬	セルタッチパップ 70/140	
販売中止に伴う変更	共和クリティケア	塩酸ドパミン注キット 200	310円/ 袋	武田テバ薬品	カタボン Low 注 200mg	855円 /袋
	小林化工	アジスロマイシン錠 250mg 「KN」	92.1円/ 錠	サンド	アジスロマイシン錠 250mg 「サンド」	92.1 円/錠
	東和薬品	ゾピクロン錠 7.5mg 「トーワ」	7.3円/ 錠	小林化工	アモバンテス錠 7.5	7.3円 /錠
試用	大塚製薬	エルカルチン FF 内用液 10%分包 5mL	348.9円 /包			
試用	三和化学	ラグノス NF 経口ゼリー分包 12g	48.2円/ 包			

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院薬剤科 DI室 (内線 9404) までどうぞ
担当 牧野・中村・山田・木村・相良